

SG

シンガポール 教育旅行ガイド
SINGAPORE



シンガポールで教育旅行がおすすめな6つの理由

シンガポールで 新たな学びを

シンガポールは「人材こそ最大の資源」という国家観に基づき、人材育成と国民の教育を重要政策に位置付けて教育制度を構築し、教育国家として知られるようになりました。その優れた教育の成果は、理工分野における世界的な卓越性やバイリンガル教育の充実となって表れています。探求型学習法や教室を出て積極的に学ぶという考え方は、日本の学校教育でも近年重視されているアクティブラーニングに相通ずるものがあります。

そうした教育のあり方を支える具体的なコンテンツとして、学力コンテストやアドベンチャー・キャンプ、さまざまな学習プログラムなど、多彩で豊かな教育コースやアクティビティが存在しており、ダイナミックな学習環境を用意できることもシンガポールのアドバンテージといえます。

もちろん教育効果は教育制度や学習法だけで得られるものではありません。安心して学びに没頭できる環境、治安面や衛生面に何の不安もないシンガポール

の環境があってこそ最大限の教育効果を手に入れることができます。

加えて多民族国家として社会のダイバーシティを保ちながら、どの民族であっても英語を話し、コミュニケーション力を磨いているシンガポールの人々のあり方は国際理解のあるべき姿として日本のみなさんに多少なりとも参考にしてもらえるのではないのでしょうか。

シンガポールの修学旅行実施件数は2010年以降増加基調にあり、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年には日本全国から191の学校から2万7835人の学生がシンガポールを訪れました。これは日本からの海外修学旅行の目的地として第2位の規模を誇る状況となっています（全国修学旅行研究協会の調査による）。

コロナ禍を経て国際間の人的交流に関する動きが再始動する中で、みなさまにシンガポールへの修学旅行を検討していただき、実現していただけるよう、このガイドブックを用意しました。

Contents

- | | |
|--|--|
| 02 シンガポールで新たな学びを | 10 学習プログラム Theme 03
リーダーシップ&ライフスキル |
| 03 シンガポールで教育旅行がおすすめな6つの理由 | 12 学習プログラム Theme 04
科学、テクノロジー、エンジニアリング、数学 |
| 04 シンガポールの概要 | 13 班別行動のテーマ |
| 05 シンガポールの歴史、文化、経済、政治 | 14 テーマ別モデルコース |
| 06 学習プログラム Theme 01
シンガポール・ストーリー | 16 シンガポール基本情報
シンガポール政府観光局インフォメーション |
| 08 学習プログラム Theme 02
生物の多様性、保全、持続可能性 | |

01 高い安全性と利便性

教育旅行を実施する上で大きなポイントの1つとなるのが安全性だ。シンガポールは経済的にも政治的にも安定している国家である。

2021年の都市の安全性を比較する国際調査においてもシンガポールは総合スコアで世界3位にランクインしているほか、医療・健康分野でも東京に次ぐ2位のポジションとなっており、世界的にも高い安全性が認められている格好だ（出典:SCI2020）。

さらにシンガポールは高い利便性を誇るデスティネーションであるといえる。日本からシンガポールへは国内5都市から直行便が就航。諸外国の中でも容易にアクセスすることができる。しかも、空港から市内主要スポットまで車で20~30分で移動することが可能。さらにMRT（地下鉄をはじめとした都市鉄道）のネットワークが年々拡充しており、班別行動など学生主体での行動もスムーズに行うことができる。



02 異文化交流が容易に実現可能

シンガポールは現在約563万人が生活をしており、そのうち約350万人がシンガポール人だ。シンガポール人は主に中国系、マレー系、インド系、その他の4つの民族で構成される。そのため1つの都市にいながらにして多くの文化を体感することにより、日本との違いを感じることができる。

シンガポールの街なかを散策すると仏教、イスラム教、キリスト教、ヒンズー教といった各宗教関連施設が平和的に隣接するなど、世界を見回しても珍しい光景を見ることができる。また、年間のお祭りやイベントが毎月それぞれの宗教で多彩な催しが行われており、宗教的観点でもさまざまな文化に触れることができるのも大きな特徴の1つであるといえるだろう。



03 英語を始め多言語を学べる環境

シンガポールでは英語、中国語（マンダリン語）、マレー語、タミール語の4言語が公用語とされている。さらにシンガポールでは1960年以降バイリンガル教育が実施されているので、国民の70%が2か国語以上の言語を話すことができる。

例えばシンガポール人の中で英語を第1言語として使用する人の56.1%が第2言語として中国語を使用しているのを始め、マレー語、タミール語を使いこなす人も多い。一方で英語を第1言語とする人で第2言語を使用しない人は全体の1割強程度であるという（2020年国勢調査）。

シンガポールでは複数の言語を話す人々との交流をすることができる。こうした環境に立たされることにより、多言語コミュニケーションの重要性を知ることができるのもシンガポールならではの環境も整っている。



04 多彩なテーマが用意されている教育プログラム

シンガポールは科学、語学、人材開発など目的にあわせてさまざまな教育プログラムが用意されている。シンガポールが多文化の共同体として成り立っている点など、シンガポールならではのストーリーを学ぶことができる。また、ポストコロナ期において教育現場でも取り上げられることが多くなった生物多様性などを始めとしたサステナビリティ（持続可能性）に関する学習素材も数多く用意されている。

このほか、シンガポールで展開されている「STEM教育」プログラムを通じて、科学と数学の分野で実践的かつインタラクティブな学習も可能。また、世界の著名な企業がアジア太平洋地区の本社機能などをシンガポールに置いていることなどもあり、グローバル人材になるためのリーダーシップに求められる資質や能力などを学ぶことができる環境も整っている。



05 現地の人々との交流プログラムも

シンガポールでは日本の高校にあたるジュニアカレッジが22校あり、13~16歳の生徒が通うセカンダリースクールは152校ある。

試験や長期休暇の期間が日本とは異なるため、学校交流の実施時期に関しては留意することも必要だが、お互いにウィンウィンとなる内容の教育なら教育の現場での交流も可能であり、また、生活の場を通じてシンガポール人と直接交流しながらさまざまな体験を行うことも可能だ。



06 歴史・文化から先進的な都市づくりまで豊富な学習素材が存在

シンガポールはコンパクトな国土に日本と比較することができるさまざまな側面があり、観光しながらグローバルな課題を認識することができる素材が豊富だ。

文化・歴史の側面では多民族の共存に加えて、日本の軍政下や英国植民地、マレーシア連邦下での統治など歴史的にもさまざまな顔を持っていることから各エリアを訪問しながらの学習が可能。都市づくりの視点からは「実験都市」として世界の中でも先行しているスマートシティ構想を始め、イノベーションやテクノロジーなど各種政策から、日本との違いを学ぶこともできる。

このほか、シンガポール北部エリアには熱帯雨林などの自然関連の観光資源も数多く存在する。また、水資源の再生テクノロジーも先進的な取り組みが展開されているなど、環境保全の分野に関する学習も可能となっている。





シンガポールの概要

Singapore Overview



シンガポールはマレー半島の南端に位置する。国土は63の島々で構成されており、面積は東京23区よりやや広い733.2平方kmとなっている。

アジア太平洋地区のほぼ中心に位置しており、シンガポールから7時間以内のフライト範囲内に約40億人の人口が存在することから、シンガポールを拠点として人々との円滑な交流が可能だ。

人口は日本の総人口の約4.5%に相当する約563万人。このうち約350万人がシンガポール人だ。シンガポール人は中国系、マレー系、インド系、その他の4つの民族で構成されている多文化・多民族国家となっている。

日本との時差はマイナス1時間で、航空

機を利用して約6時間半でアクセスすることができる。

気候についてはほぼ赤道上にあることから季節の変化がほとんどなく常夏である。最高気温は32度前後、最低気温は25~26度前後となっている。降水量については雨期は1回に降る量が増えるものの、大半は熱帯特有のスコールであり、1日中降り続く日は少ない。ただ、スコールに備えて雨具は用意しておきたい。

服装は年間を通じて半袖で問題ないが、建物内は冷房などが効いているので、上着を持参のこと。モスクや寺院などの宗教施設は、ノースリーブなど肌の露出が高い服装が禁止されており、注意が必要だ。



歴史

Singapore History

シンガポールの語源はサンスクリット語で「ライオンの街」を意味する「シンガプーラ」が語源となっている。

近代のシンガポールの礎となったのはトーマス・スタンフォード・ラッフルズが上陸した19世紀のこと。ラッフルズはシンガポールを交易拠点として整備し、中継貿易の拠点として急速な発展を遂げた。

第2次世界大戦時には旧日本軍による統治が行われた。現在でも日本統治時代のシンガポールを知ることができる施設は数多く残されている。第2次世界大戦後は英国王領の植民地となったが、1959年にシンガポールはついに自治領となり同年初の総選挙が行われた。その後1965年にシンガポールはマレーシア連邦を脱退して独立。共和国となった。



文化

Singapore Culture

シンガポールは中国、マレー、インド系、その他の4民族を中心に構成されている国だ。そのため宗教、習慣、食事、買物など生活全般に多民族の多彩な文化が反映されている。

また、シンガポールのホーカー（屋台）文化は2020年にユネスコの世界無形文化遺産に認定されており、国民の台所ともいわれる屋台料理は、多民族の食文化を象徴する有名なローカル・フードとして位置付けられている。

このほか、国民の4分の3が公共の団地で暮らすなど「団地国家」としての一面を持つ。さらに日本でも良く知られているのが厳しい罰金制度。路上のごみ捨てや横断歩道以外での横断などの禁止事項が多岐にわたるため注意が必要だ。



社会・経済

Singapore Society & Economy

シンガポールを語る上で欠かすことができないのが経済先進国であること。2022年の国民1人あたりのGDP（国民総生産）においてシンガポールは世界第7位にランクインしている。主な産業としては情報・通信・金融・保険業などとなっており、これらの産業がGDPの25%を占める。

また、限られた資源や国土であることもありユニークな政策が行われてきたこともシンガポールの特徴の1つだ。例えば外資系企業の誘致において優遇税制をいち早く導入したほか、複数の言語を使用するようにした「バイリンガル教育」。さらにハイテク産業や研究開発分野における先進的な取り組みなど「実験国家」としての姿を持っている。



Singapore Story

シンガポール・ストーリー

急成長を遂げた調和のとれた 多文化共同体を通して順応性を学ぶ

シンガポールはどのようにスマート・イノベーションを活用して資源を最適化し、現在の都市国家に変貌したのか、またどのように多様な社会を築いてきたかを学ぶプログラムです。自国と異なる社会に触れ、多文化・多様性の理解へ、広い視野を築ききっかけになるでしょう。



小さな島の、大きな計画

Small Island, Big Plans

チャンギ国際空港が現在の場所ではなかった場合はどうなっていたのかといった点など、シンガポールにおける過去50年の劇的な変革と工夫を探索しながらシンガポールの都市計画の変遷を学ぶ。現在のマリーナ・エリアとは別の開発案の模型見学や、人々のニーズに応えることを考慮した交通設計を考察するなど、限られた国土に無駄なく快適な環境を作り上げていくプロセスを学ぶことができる。



シンガポール・シティ・ギャラリー (Singapore City Gallery)

所要時間 ● 1-2時間
対象年齢 ● 全年齢
価格・人数 ● 無料 ※ガイドツアーは要事前申し込み

国立博物館で歴史の全体像を知る

National Museum of Singapore

1887年設立のシンガポール国立博物館。シンガポールの地質学的な発見から、1819年のラッフルズ卿の上陸、英国植民地時代、第二次世界大戦、都市国家に発展した現在までを時系列で学習できる。常設の「シンガポール・ヒストリー・ギャラリー」では、物語形式で過去から現在までのシンガポールを1時間程度で学べるので、歴史の全体像を把握するのに最適。



シンガポール国立博物館 (National Museum of Singapore)

所要時間 ● 60-90分 対象年齢 ● 11歳以上
価格・人数 ● 学生10シンガポールドル (常設展のみの場合1セッション40名)
※要予約 ※日本語ボランティアガイド10時半~ (月~金)

未来の公共交通システムを体験

Experience the Future Public Transport System in Singapore

シンガポールがどのように交通システムを計画、設計、構築しているのか、効率性、居住性、包括性のバランスを取りながら、よりスマートな都市モビリティのためにテクノロジーを活用している様子を学ぶ。270度のシアターでシンガポールの陸上輸送の未来について学んだり、バーチャルリアリティ・ヘッドセットを装着し、バスや電車の操縦体験やまちづくり体験ができる。



Singapore Mobility Gallery

所要時間 ● 60-90分
対象年齢 ● 全年齢
価格・人数 ● 無料 (ガイドツアー不可) ※要予約

研究施設の舞台裏

Behind-the-Scenes visits to start-up and incubator spaces

「シンガポールのシリコンバレー」について学ぶことができる初のガイド付きツアー。シンガポールの研究開発やスタートアップ・エコシステムを学ぶことができる。



Unique Business Experiences

所要時間 ● 1.5-3時間
対象年齢 ● 16歳以上 (年齢に応じたツアーのカスタマイズが可能)
価格・人数 ● 50-80シンガポールドル (最大30名、無料・ガイドツアー不可) ※要予約

多文化遺産を訪ねる

Singapore's Multicultural Heritage Trail

多文化、多民族社会であるシンガポール。インド哲学や生活様式への理解を深めたり、イスラム信仰への貴重な知見を得たり、中国系信仰の歴史ある寺院を訪ねるなど、その多様な文化遺産を巡り、それぞれの文化や伝統、しきたり、また共通のルールを、楽しくインタラクティブに学ぶ。英語のガイドで英語でのコミュニケーションも体験できる。



ジャーニーズ社、トライブ社、他

所要時間 ● 3-4時間
対象年齢 ● 9歳以上
価格・人数 ● 60-80シンガポールドル・20名以上

歴史化遺産を訪ねる

Singapore's Historical Site Trail

英国植民地時代の面影と植民地時代の影響を知り、第二次世界大戦の戦跡を訪ねる。そして、日本の軍政時代などの歴史を知るなど、その時代を振り返りながら歴史遺産を訪ねるツアー。



ジャーニーズ社、トライブ社、他

所要時間 ● 3-4時間
対象年齢 ● 9歳以上
価格・人数 ● 60-80シンガポールドル・20名以上

その他プログラム Other programmes

● アジア文明博物館

アジアの芸術的遺産や、さまざまな文明のエピソードを紹介する展示をはじめ、各種オンライン学習素材も揃える。
<https://www.nhb.gov.sg/acm/acm-online/overview?tags=Learning+Resources&page=1>

● 航空学のラーニングジャーニー

シンガポールのグローバル・エア・ハブ「Mastereign Enrichment Group」を訪問し、航空機産業の様々なキャリアについて学んだり、航空機の整備・修理を行う格納庫の見学ができる。
<https://www.mastereign.com/>

● 民族調和ギャラリー

シンガポールにおける多様な宗教への理解促進を目的としたギャラリー。それぞれの信仰を尊重し、受け入れるという考えを学ぶことができる。
<https://www.harmonyindiversitygallery.gov.sg/>

● シンガポール川トレイル

シンガポールの中心部や植民地時代の歴史、都市空間計画の概念、政府の機能などについて楽しく学ぶことができる。
<https://www.lionheartlanders.com/>

Biodiversity, Conservation and Sustainability | 生物の多様性、保全、持続可能性

持続可能な生活環境などグローバルな課題を学び、環境を意識した思考力を養う

気候変動を始めとして、環境に関する諸課題が日常生活へ悪影響を及ぼしつつある状況にあります。限られた資源の中で環境に配慮したインフラ構築に多大な努力を費やしてきたシンガポールは、環境教育に最適なディスティネーションの1つです。

ニューウォーター

NEWater, Architecture of Singapore Water Story

WRI (世界資源研究所) が「世界で最も水が不足する国」と指摘するシンガポールにおいて、日々の水需要をどのように賄っているのかを学ぶことができるプログラム。汚水を浄化して飲料水に再生している施設「NEWater」でマイクロフィルタ、逆浸透膜、紫外線殺菌等の技術など、汚水の再生に対する最先端技術を学ぶことができる。



NEWater Visitor Centre

所要時間 ● 1時間
対象年齢 ● 全年齢
価格・人数 ● 無料 (ガイドツアーの依頼が可能。要事前予約登録)

マリーナ・バラージ

Marina Barrage and Sustainable Singapore Gallery

マリーナ・バラージは、シンガポール川からの水をせき止め、マリーナ湾を貯水地として、洪水から街を守る治水管理するダム。国内に17ある貯水池のうちの15番目に完成したマリーナ貯水池は、都市部にある貯水池の中で最大。施設内にある「サステイナブル・シンガポール・ギャラリー」では、シンガポールの水問題への対応を始め、技術、治水管理、ソーラー発電など省エネへの取り組みなどを学べる。



Marina Barrage and Sustainable Singapore Gallery

所要時間 ● 60-90分
対象年齢 ● 11歳以上
価格・人数 ● ガイドツアー (英語) は1グループ50人まで 要事前予約

S.E.A. アクアリウムで学ぶ水族館の運営

Feeding Frenzy at S.E. Aquarium

水族館の運営について学ぶバックヤード・ツアー。水族館職員による餌付けセッションの体験を通し、栄養素の種類、異なる種の適切な栄養など、それぞれの生物に適切な餌付け方法を体験することが可能であるほか、水族館の舞台裏を見ることを通じて、海洋生物の多様性や海洋環境の保全の重要性を学ぶことができる。



シー・アクアリウム (S.E.A. Aquarium™)

所要時間 ● 30分-1日 (内容による)
対象年齢 ● 12歳以上
価格・人数 ● 20~50シンガポールドル

ガーデンズ・バイ・ザ・ベイで学ぶ持続可能性

A Green World

ガーデンズ・バイ・ザ・ベイにおけるエネルギー持続可能性に関する取り組みやドーム型の寒冷室における植物の生育状況などを見学しながら、人間の活動がいかんして生態系の環境に影響を与えているかなど、環境保全と持続可能な生活の必要性を理解する。



ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ (Gardens by the Bay)

所要時間 ● 60分
対象年齢 ● 13歳以上
価格・人数 ● 120シンガポールドル/1団体 (20名) ※入場料を含まず

シンガポール動物園での講演

Seminar at Mandai Wildlife Reserves

動物園、ナイトサファリ、リバーワンダーなど4施設を運営する「マндаイ・ワイルドライフ・リザーブ」による講演プログラム。施設で取り組んでいる環境保全と野生動物の保護活動について学ぶことができる。「グリーン・マндаイ (動物園運営の際に直面する課題にサステナブルな解決策を発見)」などをテーマとしたセミナーにガイドツアー、バックヤード・ツアー、夕食と組み合わせも可能。



マндаイ・ワイルドライフ・リザーブ (Mandai Wildlife Reserve)

所要時間 ● 60-120分
対象年齢 ● 内容による
価格・人数 ● 要確認 (30~200名程度)

垂直農園スカイ・グリーンズ

Sky Greens

シンガポール初のオーガニック&カーボンゼロの垂直農園。最低限の土地、水、エネルギー資源を活用し、安全、新鮮、おいしい野菜の生産を実現している垂直農法システムの見学と仕組み、また旧来方法との比較をしながら、農業の変化、問題点や課題とその解決策、今後について考えることができる。



スカイ・グリーンズ・ファームツアー (Sky Greens)

所要時間 ● 60分程度
対象年齢 ● -
価格・人数 ● 要確認 (20名)

その他プログラム Other programmes

● 自然の中でのアドベンチャー

植物について学び、サステナビリティの重要性を理解するプログラム。手植え体験など、持続可能で環境にやさしい農業の知識を身につけるための実践的な体験ができる。

<https://www.earthadventures.sg/>

● リー・コン・チャン自然史博物館

サンゴ礁やマングローブに生息する海洋生態系を学ぶ「Marine Ecology Workshop」や多様な動物たちについて学習する「Animal Classification Workshop」などを通じて、実際の標本を見ながら理解を深めることができる。英語のボランティアガイドツアーもある。

<https://lkcnhm.nus.edu.sg/>

● シンガポールの水物語と炭素隔離のガイアの道シリーズ

シンガポールを象徴する水路や貯水池に隣接する美しい自然を体感しながら、二酸化炭素の吸収と水資源の保全のためのしくみと自然界での働きを知る。

<https://www.sec.org.sg/>

● スンガイ・ブロー・ウォーターランド・リザーブウォーク

シンガポール初のASEANヘリテージパークに認定されたシンガポール最大のマングローブの森「スンガイブロー」。鳥や爬虫類、哺乳類の生態系を支える湿地帯を歩きながら、豊かな生物多様性の世界を体験できる。

<https://lkcnhm.nus.edu.sg/>

● 水耕栽培技術の学習

水耕栽培技術を展示したアジア最大の温室「Kok Fah Guided Fam Tour」や、Mastereign Enrichment Groupが提供する「Introduction to Hydroponics Farming」を通し、土を使わずに植物を育てるシステムを学ぶ。

<https://kokfahfarm.com.sg/farm-tours-activities/>
<https://www.mastereign.com/>

● シンガポール植物園

シンガポールで最も古く、同国で最初にユネスコ世界遺産に登録された庭園。未就学児向けと小中高生向けの各種学習プログラムを用意している。

<https://www.nparks.gov.sg/sbg/education/children-schools-organised-groups>

Leadership and Life Skills | リーダーシップ&ライフスキル

グローバル人材になるためのリーダーシップと能力スキルを学ぶ

アジアの多くの国々での教育では、1クラスの人数が多いことから、一人一人が話し、十分に自己表現をする機会が少ないといった課題があります。人前で実際に話し、気持ちを鍛え、自信を持つシンガポール流のトレーニングを体験することができます。



ニュース報道のワークショップ

News Presentation Workshop

プロのテレビ業界関係者もトレーニングを行う施設で、業界の専門家からニュース実況と生放送の技術を学ぶ。ニュース番組制作、報道・放送のプロセスを学び、生のプレゼンテーションを行う体験学習を通し、プレゼンテーション、スピーチ、表現力を学び自信をつける。



シンガポール・メディア・アカデミー (Singapore Media Academy)

所要時間 ● 1-2日
対象年齢 ● 8歳以上
価格・人数 ● 要見積もり

チームベース体験

Team Based Experiential Activities

個々の力を統合させリーダーシップを引き出す。さまざまなチームベースの課題解決アクティビティのプログラムを用意する。アクティビティを通じて、チームでの活動やコミュニケーションを学び、問題解決能力、決断力、主体性を養うことができる。



キャンプ・チャレンジ (CAMP CHALLENGE)

所要時間 ● 2時間程度のものから1-2日 (1泊) まで
対象年齢 ● 6歳以上
価格・人数 ● 70~140シンガポールドル ※複数プログラム有、カスタマイズ有

模擬国連

Model United Nations

国際関係やグローバルな問題について学ぶプラットフォームを提供し、国連の役割について学ぶ。自信を持って話し、議論できる人材を育成するほか、協調性を育み、外交、国際関係、研究を通じたリーダーシップを養う。年1回の開催。



Singapore MUN

所要時間 ● 4日
対象年齢 ● 13歳以上
価格・人数 ● 165シンガポールドル

ディベート

Debate

柔軟な発想で、自分の考えを表現する場を提供し、自信をつけ、説得する技術を学ぶことで、ディベートやパブリックスピーキングを通じたリーダーシップを育成する。またチームワークを鍛え、チームでまとまった仕事ができる人材を育成する。グローバル・シチズン社では、ディベートの他、ドラマ&クリエイティブ・シンキングやグローバル・シチズンシップ、インタビュー・スキル、STEM&イノベーション、リーダーシップ、模擬国連などのプログラムを実施している。



The Global Citizen

所要時間 ● 1-3日
対象年齢 ● 13歳以上
価格・人数 ● 150シンガポールドル (1日)

料理を通して学ぶライフスキル

Travel/Team Chef - Shaping the mind with life skills

チームでの料理を通し、チームワーク、権限移譲(他人に任せること)、コミュニケーション、組織、人への敬意といったことを学ぶ。料理は単なる技術ではなく、科学であり工夫であるという考えのもと、料理を通してこれからの生活に必要なさまざまなスキルを楽しみながら学ぶことができる。



アットサンライズ・グローバルシェフ・アカデミー (At Sunrice GlobalChef Academy)

所要時間 ● 4時間-5日
対象年齢 ● 8歳以上
価格・人数 ● 100~450シンガポールドル

香りの科学

Sciences of Sense of Smell

香りについて学び、香水やアロマなど香りを提供する製品を作る中で、計画、意思決定、芸術的プロセスの管理を学ぶ。また、セントピア周辺にある植物について学習するほか、植物の外来種が海峡植民地のビジネスに与える影響を学ぶなど、要望に応じたプログラムの提供が可能となっている。



セントピア (Scentopia)

所要時間 ● 1-2時間
対象年齢 ● 子供から大人まで
価格・人数 ● 30シンガポールドルから

その他プログラム Other programmes

● 演劇表現

演劇の練習を通じ、身体表現やスピーチなど、人前で話すことに自信を持ち、聴衆の前で話す自信と優れたプレゼンテーション能力を養う。

Stage Camp/Creative Communication

<https://www.srt.com.sg/>

● エスプラネード・バックステージツアー

数々の公演が行われている「エスプラネード・シアター」のバックステージを見学し、建物とそのデザインについて学ぶほか、シンガポールの芸術発展をより深く理解する。

<https://www.esplanade.com/>

事前学習講座のススメ

シンガポールへの修学旅行の事前研修については、日本シンガポール協会が独自の学習プログラムを用意している。シンガポールに在住経験のある協会役員が見どころや生活文化のほか、国の生い立ちや仕組みなどについてわかりやすく説明してくれる。

研修の申し込みについては希望するセミナーの内容などを記入の上、日本シンガポール協会の事務局に問い合わせのこと。

一般財団法人 日本シンガポール協会

HP : www.singasso.or.jp

Email : singasso@singasso.or.jp

Science, Technology, Engineering, Mathematics 科学、テクノロジー、エンジニアリング、数学

科学と数学の分野で、実践的かつインタラクティブな学習

科学と数学の分野の教育で高い評価を受けるシンガポールで、専門家から学び、実際に自らの経験を通して能力を鍛え、楽しみながら学びましょう。各知識を横断的に活用し、つくる・試す、経験を通して学ぶ学習です。シンガポールならではの「STEM 教育」プログラムが多数揃っています。

サイエンス・センターでの教育プログラム

Enrichment Programmes at Science Centre Singapore

STEM教育の推進機関でもあるサイエンス・センターでは、既存のプログラムが100以上あり、中学生以上向けのプログラムだけでも75のプログラムがある。一番人気は自動お茶淹れ機作成のプログラムで、科学、テクノロジー、エンジニアリング、数学、すべての要素が含まれている。また天文台ではシンガポールの星空を観察することができる。(Stargazing@Observatory)



サイエンス・センター・シンガポール (Science Centre Singapore)

所要時間 ● 2時間
対象年齢 ● 13歳以上
価格・人数 ● 要問合せ (内容により異なる)

フライトシミュレーション

Flying Start/Elementary/101



飛行機がどのように作られ、飛ぶことができるについて学ぶことができるほか、旅客機の内部や空港での業務内容などを知ることができる。またフライトシミュレーターの操縦体験に加え、航空工学、航空電子工学などの高度な学習も可能。

Flight Experiences

所要時間 ● 120 - 150分
対象年齢 ● 4名以上
価格・人数 ● 要確認 (最低20名~最高35名まで)

F1 in Schools



F1を通じて青少年のSTEMへの興味を喚起するプログラム。物理学、エアロダイナミクス、コンピュータ設計を学ぶ。木材で作られたF1のミニチュアカーでのテストを通し、マシンへの空気の流れや、デザイン、分析、製造について学習することができる。

F1 in School Singapore / Mastereign Enriching Group

所要時間 ● 4 - 15時間
対象年齢 ● 9歳以上
価格・人数 ● 80 - 300シンガポールドル (最低15名~最高35名まで)

その他プログラム Other programmes

● プログラミング、コーディング

プログラミングを学びながら、工学設計の基本構造、コーディングロジックを理解し、実際に製作を行う。

Future Ready Academy

<https://www.futurereadyacademy.com/>

St. Uriel <https://sturiel.com/>

Whizz Kids Pte Ltd <https://whizzkidz.com.sg/>

● STEM キャンプ

21世紀型人材育成のプログラムを提供するプログラム。アウトドア活動を通じて、問題解決能力の育成や世の中をよりよくするための考え方に加え新たなSTEMアイデアを開発する。

<https://www.theglobalcitizenacademy.com/classesandcampssg>



班別行動のテーマ

班別行動で生徒たちの自主学習として活用できるテーマをご紹介します。

01

Singapore Story

シンガポール・ストーリー

- シンガポールの歴史 (東インド会社、日本の軍政下、独立以降の半世紀の発展)
- シンガポールの工夫 (乏しい天然資源・土地、交通政策、8割が暮らす公園、都市設計、等)
- それぞれの民族の文化や伝統、しきたりと共通のルール
- チャイナタウンとリトルインディアのウェットマーケットの違い
- 2020年にユネスコの無形文化遺産に登録されたシンガポールの屋台文化とは

02

Biodiversity, Conservation and Sustainability

生物の多様性、保全、持続可能性

- ガーデンシティからシティ・イン・ア・ガーデンへ (その歴史、意味を理解)
- シンガポールの水資源問題 (課題と問題解決の方法について)
- 檻のないオープン型の動物園 (そのアイデアや技術、野生生物の保護について)
- トロピカルな気候の中の自然、生物の多様性、野生の保存
- どのようなサステナブルの取り組みがなされているか (観光地、空港、ホテルなど)

03

Leadership and Life Skills

リーダーシップ&ライフスキル

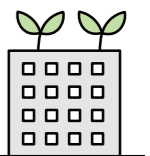
- 語学
- 共通語としてのアジアの英語 (シンガポールでの英語体験、英語でのプレゼンテーション)
- アジアHQ (本社)、スタートアップやインキュベーターを誘致する理由や工夫
- シンガポールの経済 (主な産業と変遷、日本企業の進出状況、共働きの環境、等)
- シンガポールの教育 (どういふマインドを築いていく? 学生同士の意見交換、等)

04

Science, Technology, Engineering, Mathematics

科学、テクノロジー、エンジニアリング、数学

- 地震・台風のない国のユニークな建築
- グローバル・ハブ、スタートアップ環境
- 緑化政策 (植樹やビルの緑化、サステナブルな都市デザイン)
- ゼロエネルギーの建築物 (建物自身でエネルギーを自給自足)



テーマ別モデルコース

シンガポールで注目すべき4つのテーマを流れに沿って効率よく巡るモデルコースを紹介する。

THEME 01 | Water Resources 水資源

水問題4つの解決策を知る

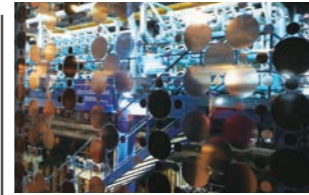
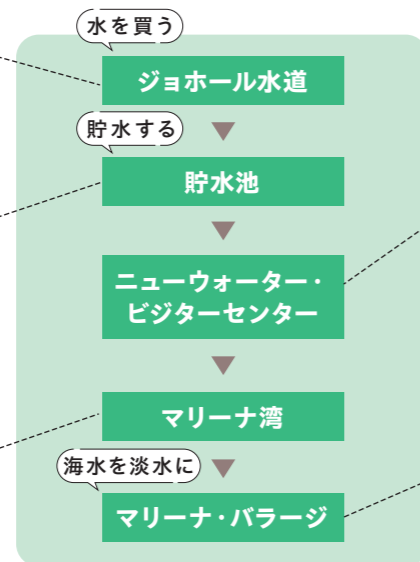
マレーシアから買う水は、ジョホール水道のタンクを通してシンガポールに送られる。



マクリッチー貯水池は公園もあり、ブッシュウォーキングなど自然に親しむことができる。



町の真ん中にある貯水池。



汚水を真水に変えるセンターを訪ねて、環境保全や最新の技術を学ぶ。



マリーナ湾を海水から淡水に変える装置。ビジターセンターがそばにある。水資源問題、エコ・サステナブルエナジーに関する展示等がある。

THEME 02 | Green Building 建物の緑化と環境対策

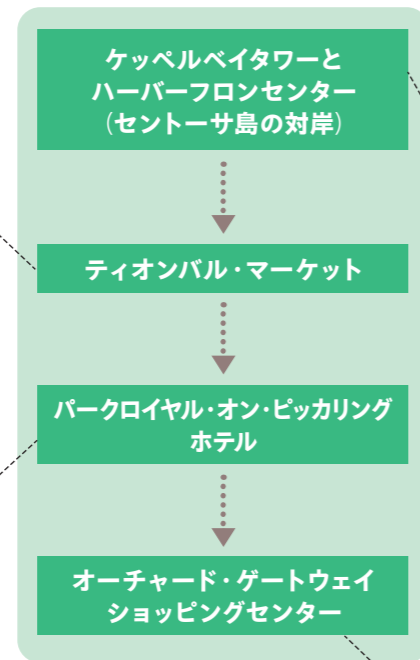
大規模建造物の緑化とエネルギー消費行動の改善を学ぶ



3階建ての建物で店舗とホーカーセンター（屋台）で構成されている。施設にはソーラーパネルの設置で約12%の電力代替を実現。また、リサイクルボックスの設置による再利用プログラムを推進。また、持続可能性の啓発メッセージなどを掲示するなど、環境配慮や持続可能性に高い意識を持って取り組んでいる。



367室のホテルと9フロアのオフィスで構成されている施設。環境配慮については、駐車場を始め、敷地内のいたるところが緑化されているほか、すべての冷却水や復水ポンプにVSD（可変速駆動装置）が採用されている。また、冷却装置のエネルギー効率も大幅に向上している。



ケッペル・ベイ・タワーは地上18階建ての複合商業施設。最先端の太陽光発電システムやビル制御システムを導入している。さらに排気システムについても、既存の技術に比べて45%以上効率を高めたエネルギー管理システムを導入している。

ハーバーフロントセンターは13階建ての施設でショッピングフロアとオフィスフロアで構成。環境配慮への取り組みとしては、すべてのトイレを節水型水栓に変更している。また、エレベーターロビーはより効率的な照明を採用している。このほか、冷却水には再生水を使用している。

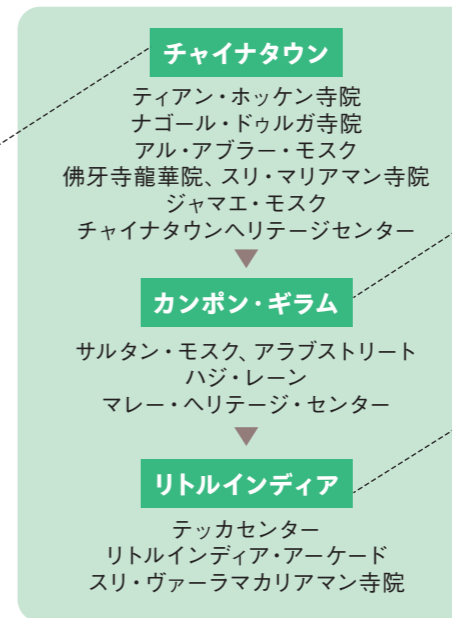
オーチャード通り沿いの20階建ての複合施設で535室のホテルやショッピングモールで構成されている。環境関連の取り組みについては、エネルギー効率の高い照明器具の導入を始め、空調設備にUVCエミッター（紫外線殺菌ランプ）を設置し、空気の質改善を図っている。また、店舗テナントにも環境配慮に関する取り組みを徹底している。

THEME 03 | Multi Culture 多民族文化

ダイバーシティへの視点を養う



最初に移民が集まったのが、チャイナタウン。ティアン・ホッケン寺院は中国寺院の中で最も古い。また、宗教施設が密集し、多文化・多民族国家の縮図のような空間が広がる。



カンボン・ギラムはマレー文化の街。サルタン・モスクはシンガポールで最も大きいモスク。アラブ・ストリートはエキゾチックな空間が広がる。



インド人街のリトルインディア。リトルインディア・アーケードは衣装店や菓子、飾り物などインドの製品が売られている。

THEME 04 | History 歴史

開港から戦争、独立までの経緯を学ぶ



シンガポールの新旧の国名を象徴するマーライオン。テマセク（海の町）と呼ばれていた頃と、現代シンガポールの象徴的エリアのマリーナ湾を一望。

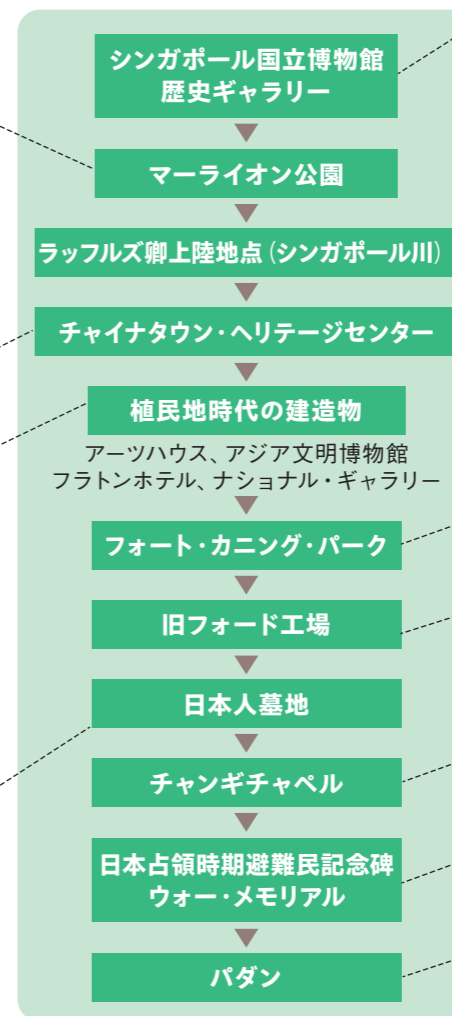
シンガポール初期の中国系移民の暮らしに触れる。日本語のマルチメディア・ガイドが利用できる。



1827年に建てられた旧国会議事堂のアーツハウス。アジア文明博物館は1867年に建造され、移民局として利用されていた。フラトンホテルはもともとは郵便局で、灯台の役割も果たしていた。2015年にオープンしたナショナル・ギャラリーは世界最大級のアートギャラリー。



1800年代に海外に渡った日本人の山本音吉や「からゆきさん」から、第二次世界大戦で戦死した人の墓がある。南方軍総司令官・寺内寿一元帥、明治の文豪の二葉亭四迷の墓もある。



シンガポール・ストーリーのコーナーでまずはシンガポールの歴史の全体像をつかむ。



シンガポール建国の父と呼ばれるラッフルズ卿の像は1819年に初めて上陸されたとされる場所にある。

古代マラヤ王国の王宮があったとされるこの地はかつて立ち入りが禁じられた。「禁断の丘」と呼ばれている。英国の植民地となった後はガバメント・ビルと呼ばれていた。第二次世界大戦時は軍事基地にもなっていた。

1942年、日本軍はマレーシア側からシンガポールに入った。旧フォード工場は連合軍が日本軍に降伏した場所でもある。

第二次世界大戦中に日本軍の捕虜となった英国、豪州など連合軍軍人の元収容所。

1942～1945年までの戦時下の日本軍政下に命を落としたシンガポール人の鎮魂の碑。

マレー語で広場の意味。独立以来何度も独立記念日の式典が行われた。2015年の建国50周年式典もここで催された。

シンガポール基本情報

通貨●シンガポールではシンガポールドルが使用され、紙幣はS\$2、S\$5、S\$10、S\$50、S\$100、S\$1,000、S\$10,000がある。硬貨は5セント、10セント、20セント、50セント、S\$1がある。

免税手続き●旅行者は、加盟店での購入額がS\$100を超える場合、購入した商品について支払った8%の物品サービス税（GST、消費税）の還付を申請することができる。

ネットワーク環境●観光客は、Wireless@SG xアプリをダウンロードすることにより、Wireless@SG xホットスポットで、各自の外国の携帯電話番号を使って無料のWi-Fiを利用することができる。海外手数料が適用される場合がある。

言語●大半のシンガポール人は流暢に英語を話すので、英語でコミュニケーションを取ることができる。また、多くのシンガポール人は、北京語（マンダリン）、マレー語、タミル語などの別の言語も話す。

気候●シンガポールは1年中高温多湿で、気温は通常30℃を上回る。短時間のスコールが発生するので、雨具は持って出かけるとうい。

電源プラグ●シンガポールで使用されている標準的な電圧は220～240V（周波数は50Hz）で、電源プラグは四角形の3曲プラグ（BFタイプ）が使われている。

チップ●よいサービスを受けたときには、チップを渡すとよい。

水道水●シンガポールの水道水は世界保健機関の基準に合格しているので、水道水をそのまま飲むことが可能。また、ボトルやパック入りの飲用水も手軽に購入することができる。

覚えておくと便利な電話番号

警察 999
救急車&消防 995
フライト情報 1800 542 4422

現地の交通機関について

鉄道●シンガポール内を最も速く移動できるのはMRT（大量高速鉄道）だ。大半の観光スポットはMRT駅から歩いてすぐ。

バス●バス路線はシンガポールのほぼ全

土をカバーしている。バス運賃の支払いには、大人用プリペイドカード（EZリンクカード）またはシンガポール・ツーリスト・バスを使用することができる。

タクシー●バスやMRTが運行していない場所に出かける場合はタクシーが便利で快適。シンガポールのタクシーはメーター制だが、利用時間帯や場所、タクシー会社によって追加料金がかかる場合がある。

多くのショッピングモールやホテル、観光名所では、タクシー乗り場を利用すること。また、最近では配車アプリの利用者が増えているので、時間を気にする際は配車アプリが便利。例えば、ComfortDelGro Booking App、Maxi cab Big Taxi Singaporeなど。

入国手続きについて

シンガポールの入国にあたっては新型コロナウイルスに伴う入国制限は撤廃されており、到着後の検査や隔離なども行われていない。接種証明などの書類も不要だが、感染状況によって必要となる場合があるので、出発前に確認が必要（2023年2月現在）。

入国者は全員、出入国カード（SGアライバルカード）をオンラインで事前に提出する必要がある。

SGアライバルカードはシンガポール到着日を含めて逆算して3日前から記入・提出できる。

記入する内容はパスポート情報、住所、メールアドレス、携帯電話番号、旅行情報（到着・出発日、入国の際の航空便情報、宿泊先など）、過去の旅行履歴と健康状態についてなど。

※SGアライバルカードのページ
<https://eservices.ica.gov.sg/sgarrivalcard/>

シンガポールの医療状況

新型コロナウイルスの感染拡大などもあったことから、海外渡航時において気になるポイントの1つが現地の医療体制だ。

シンガポールの医療水準は比較的高く、近隣諸国や遠くは米国などからも治療のためにシンガポールを訪問するケースもある。

また、新型コロナウイルスに関連したPCR検査の受診可能なクリニックはシンガポール国内の800軒以上のクリニックが対応してくれるほか、主要宿泊先周辺には複数の医療施設が存在している。万が一新型コロナウイルスに感染した場合においても政府が策定したプログラムに基づいて対応が行われる。

シンガポール国内のビジターセンター

シンガポールビジターセンター

●オーチャードゲートウェイ
住所 216 Orchard Road (オーチャード・ゲートウェイ@エメラルドに隣接)
最寄り駅 サマセット (NS23)
営業時間 8:30～21:30

●IONオーチャード
住所 IONオーチャード1階
最寄り駅 オーチャード駅
営業時間 10:00～22:00

●ホテル1888コレクション
住所 20 Trengganu St.#03-01
最寄り駅 ブギス駅
営業時間 8:00～16:00

●カンボン・グラム
住所 55 Bussorah Street
最寄り駅 ブギス駅
営業時間 8:00～18:00

●レストブギスホテル (カンボン・グラム)
住所 8 Jalan Kubor
最寄り駅 ラベンダー駅/ブギス駅
営業時間 8:00～18:00

●フナン
住所 Basement 2, 107 North Bridge Road
最寄り駅 シティホール駅
営業時間 10:00～22:00

●キム・チュー・クエ・チャン (カトン&ジョー・チャット)
住所 111 East Coast Road
最寄り駅 バヤ・レバ駅
営業時間 9:00～21:00

本誌の情報は発行時（2023年2月）のものであり、発行以降に情報の変更が生じる可能性があります。本誌の内容に関して生じた損害、損失、権利侵害または迷惑について、シンガポール政府観光局では責任を負いかねますのでご了承ください。
©シンガポール政府観光局2023

シンガポール政府観光局インフォメーション

日本支局

営業時間 月～金 9:30～12:30 / 13:30～17:30

※土日祝、シンガポール独立記念日（8月9日）は休み

URL : www.visit.singapore.com/ja_jp Email : STB_infojapan@stb.gov.sg

Facebook : [VisitSingaporeJP](https://www.facebook.com/VisitSingaporeJP) Instagram : [visit_singapore](https://www.instagram.com/visit_singapore)

 **SINGAPORE**
Passion Made Possible